

令和3年4月定例記者会見要旨

開催日時 令和3年4月23日(金) 午前10時30分 302会議室

(市長あいさつ)

おはようございます。諏訪湖記者クラブの皆さまには、緊急の事態等ある中で取材にご協力いただき誠にありがとうございます。

4月の定例記者会見ということで、まず、新型コロナウイルス感染症に対する諏訪市の緊急対策についてお伝えします。ご承知のように国は10都府県に対して「まん延防止等重点措置」を適用しています。さらに一部大都市圏においては3度目の緊急事態宣言の検討に入っている状況です。長野県においても状況はご承知のとおりで医療警報も発出されている中、諏訪圏域においては、4月14日に警戒レベル4・特別警報Ⅰが、その2日後の16日には警戒レベル5・特別警報Ⅱが発出されました。感染拡大に特に警戒が必要な状態が続いていますので、市民の皆さま、事業者の皆さまにおかれましては、日頃の感染拡大防止対策へのご協力に感謝をしつつ、改めて徹底をお願いいたします。

諏訪市では、令和2年度において、総額69億4,306万円の対策を第9弾まで講じてまいりました。また、令和3年度の当初予算においても、市制度資金による支援継続及び新型コロナウイルス感染症外来・検査センター運営事業費などを計上し、対策を続けています。

今般の諏訪圏域で感染が急拡大している状況に鑑み、諏訪市全域の飲食店に対し営業時間短縮要請が出されていることから、市内飲食店に勤務されている方を対象としたPCR検査を長野県と連携して実施します。また、子育て世帯生活支援特別給付金のひとり親世帯分について、国の予備費使用が決定されたことに伴い、給付金を早急に対象の皆さまに支給するため、令和3年度の第1弾の緊急対策として3,434万円を計上します。この2件は、5月に予定されている臨時議会に提出してまいります。

飲食店への時短要請は既にスタートしており、本日も、県と市で啓発及び協力の依頼で巡回する予定ですが、飲食店に勤務されている方を対象としたPCR検査は、別紙プレスリリースのとおり、実施期間は4月26日(月)から4月28日(水)の3日間に予約制で行います。時間は午後1時から5時まで、会場は諏訪湖ヨットハーバー駐車場となっています。

その他、5月の日程等を説明します。

○諏訪市水防訓練 5月16日(日) 午前8時30分 諏訪湖イベントホール

○駅前交流テラスすわっチャオ2周年記念講演会

5月16日(日) 午前10時30分 駅前交流テラスすわっチャオ

○第52回高島城祭 5月23日(日) 午前9時00分 高島公園

○霧ヶ峰開山祭 5月24日(月) 午前9時30分 霧ヶ峰強清水

○第98回上水道記念式 5月29日(土) 午前10時00分 茶臼山配水池

○教育委員会関係 5月の行事予定

記者との質疑応答

○新型コロナウイルス感染症対策について

(記者) 新型コロナウイルスの感染拡大の今後の見通しを伺いたい。

(市長) 推測は難しいと思いますが、今、出来得る限りの手を打っている状況です。特に感染が拡大しているとして、諏訪市、茅野市、原村で飲食店の営業時間短縮が要請されています。出来得る限り市民の皆さまに啓発し、警戒をしっかりといただきますようお願いいたします。また、家族がPCR検査を受けることになった場合は、職場や学校などへ早めに報告をしていただきますようお願いいたします。報告を躊躇している間に感染が広がってしまっている状況が見受けられます。家族がPCR検査が必要となった場合などには、行動を自重し、早めに報告することで感染のスピードを抑えられると思っています。できれば感染警戒レベル5の期間、4月29日には、収束に向かう兆しを見出したいと思って努力しておりますので、是非ともご協力をお願いします。

(記者) 国では、東京都などを含め、緊急事態宣言が再び出るということです。時短要請の期限は一応29日までだが、延長される可能性もあるのか。

(市長) 長野県と我々自治体が情報を共有しながら適切なタイミングで判断をしていくべきものですので、今日の時点では申し上げられません。今はとにかくやるべきことをしっかりやっていきたいと思っています。

(記者) 飲食店への協力金のほか、新たな経済対策はあるか。

(市長) 飲食店を応援するクーポン券は、5月下旬にスタートできるように準備しています。更に6月補正で必要な対応についても検討に入っておりますので、あらためて発表してまいります。

(経済部長) 令和2年度の予算を繰り越した事業ですが、テイクアウトにも対応可能な飲食店応援制度にしていく考えです。

(記者) 1ヶ月前には、このような状況になるということはだれも想像していなかったと思う。現在、諏訪圏域だけ警戒レベル5が残ってしまった状況を率直にどう受けとめているか。

(市長) 4月当初は感染警戒レベル2でした。3月は転入・転出など人の移動の多い時期であり、また、大都市圏の警戒の解除のタイミングもありましたので、感染が拡散する可能性はあるということで十分な注意を呼びかけてきています。変異株の急拡大は予測し難いところがあり、現状は、災害が発生している渦中ですので、今やるべき感染措置に注力していきたいと考えております。

(記者) 来週の従業員のPCR検査の対象店舗は、諏訪市で何店舗くらいか。

(市長) 約400店舗です。

(記者) 先ほど市長から、家族にPCR検査が必要になった場合は躊躇なく報告を入れて

ほしいという話があったが、詳しく聞きたい。

(市長) 濃厚接触などにより、家族にPCR検査を受ける必要が生じた場合には、職場や学校に迅速に報告してほしいと思います。検査結果を待たず、早く報告することによって、感染拡大のスピードを止められる可能性が高まります。報告を躊躇している間に、家族内感染が広がる、あるいは活動の中で感染が広がるという状況が見えてまいりましたので、改めて皆さまにご協力をお願いしたいと思っております。

(記者) この頃、他圏域で諏訪ナンバーの車に乗っていると拒否反応があるという話を聞きますが何か対策はないのか。

(市長) 諏訪ナンバーが嫌われてしまうことは私たち自身も胸が痛いです。そうした経験を他の人にしないように、勉強の機会としても冷静に対応して行ってほしいと思います。

(記者) 間もなく大型連休を迎えるにあたって、市民にどのような行動を求めたいか教えてほしい。

(市長) 現在、29日まで警戒レベル5・特別警報Ⅱという状況にあり、もしかしたら延長になることも考えられます。連休中なので遊びに行きたい気持ちもあるでしょうが、ご承知のように全国を俯瞰いたしますと都会においては3回目の緊急事態宣言が出されようかというニュースも届いています。そうした状況に鑑み連休中ではありますが、十分に注意して行動していただきたいと思います。普段の連休と違って、イベントやお楽しみが激減している連休を迎えます。精神的な部分でもコントロールが大切かと思っておりますので、しっかり感染防止対策をしたうえで、それぞれ工夫して行動していただきたいと思います。

○新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について

(記者) ワクチンの接種について、5月号の広報紙で次のステージについて説明されるというお話があったが、予約受付再開時期という認識でよろしいか。

(市長) はい。

(記者) ワクチンの関係で、5月に入ってくるということですが、今後、順調に、定期的に入ってくる見込みなのか、その辺りを心配している方が多いと思うので教えてほしい。

(市長) 国が入荷したワクチンを県に配分をし、県が市町村に配分をするというルートだと承知しております。事前にわかる範囲で情報はいただくのですが、ワクチンが届いたら出来るだけ早く有効に皆さまに接種ができるという体制をとることが市町村の最大の任務と思っております。

○トライアスロン大会について

(記者) トライアスロン大会の延期の方向が決まったということで、市長は大会長を務められているが、どのように受け止めているか。

(市長) 正式には26日の総会をもって決定すると聞いていますので、確定したところでコメントしてまいります。

(記者) 現時点で、これまでの準備状況などを見たうえで、市長が成果だと思うところはどんなことでしょうか。

(市長) 6市町村の若い方々がものすごい勢いで頑張って準備を進めてこられました。スポンサー企業も多く、協力体制を整えていただいております。ボランティア募集などの課題は残ってはいるものの、相当程度の構築がなされ、若い方々の頑張りを評価しています。